

核兵器全面禁止条約の交渉開始を

香川県原水協ニュース

No.

107

2019年5月19日

原水爆禁止香川県協議会

電話・FAX087-831-5350

原水爆禁止国民平和大行進愛媛・香川県境引き継ぎ式

香川県での行進始まる！！ 本日の参加 21 名・4,860 円の募金

5月6日（日）高知・愛媛県境から背合わせにスタートした、四国北コースの引き継ぎ式が県境で行われました。愛媛県の仲間は「小太鼓」を先頭に行進。引き継ぎ式では、今井正夫大行進実行委員長（愛媛県労連議長）が報告を兼ねたあいさつ。愛媛県20の全自治体を訪問し、首長署名を今年新たに3筆増やしたと報告。八幡浜市長からは署名の主旨を詳しく説明するとその場で快諾した。今後とも首長署名を強めたいと報告しました。

香川県からは藤沢義輝県労連事務局長（県国公共闘副議長）が香川県の参加目標は昨年を上回る700人とし、今日は少ないが、目標達成したいと決意表明し、平和行進の横断幕を2県の仲間45名で引き継ぎました。

県内行進

今年から新たに始めた「おもしろマップ」の最初の地点、豊浜八幡神社では、新婦人のお接待と巖島神社の大鳥居の由来を聞きました。説明によると、明治2年、巖島神社（広島）の鳥居の建て替え時にこの神社の大楠が使われたとの話が「豊浜町史」に掲載されているとありました。

今日行進は曇り空の中でスムーズな行進となりました。沿道の方から「こんにちは」と挨拶を頂いたり、行進車のアナウンスに耳を傾けたり、また会釈で激励もありました。行進の主役は新婦人の方々でした。愛媛県の最年少の山口流星君（小2・8歳）の元気をもらっての行進となりました。

終結集会で、観音寺原水協の森川善弘さんは本日の参加者21名と行進途中で参加者が増えたと報告しました。また新たに取組んだ「行進募金袋」には、なんと、4860円も入りました。



引継ぎ式で愛媛・香川の引継ぎ式



JR 観音寺駅での終結集会